

平成 25 年 9 月 吉日

各 位

学 校 法 人 柳 学 園

理 事 長 柳 弘 一 郎

創立 100 周年を迎えて ごあいさつ

平素より、本学園教育活動に対しまして心強いご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、柳学園は大正 2 年の創立以来、本年 100 周年を迎えています。

チョンマゲ姿の武家政治が終って 150 年足らず、また東海道新幹線の開通がなって約 50 年です。

「短くもあり長くもある 100 年」の追憶と同時に 100 周年の歳月の重みに改めて身が引き締まります。

本学園が 100 年もの星霜を重ねてこられましたのは、先人の方々、卒業生の方々、淡路島民の皆様、兵庫県ご当局のお蔭でございます。

多くの皆さま方に厚く厚くお礼申し上げます。

つきましては、各方面の皆様方にご案内をさし上げ記念式典を挙げる計画でございました。

しかしながら、去る 4 月 13 日の「淡路島地震」により、学園下加茂校舎はかなりの被害で経済的にも精神的にも大きな痛手を蒙りました。

この事態を受け、創始者柳利三郎の「華を去り、実に就く」の教えに鑑み、創立 100 周年記念式典は簡素にかつ内輪にて行うことといたしました。何卒ご了承下さいますようお願い申し上げます。

私ども 100 周年を回顧するにつけ、多くのことに気づかされます。いうなら、「温故知新」であります。

いま一度原点に立ち返り、私学の独自性を追求してまいります。

学園は新しい世紀に入ります。旧態依然を廃し、学園の刷新を図ってまいります。

皆さまには引き続き、ご理解と格別のご協力をお願い申し上げます。